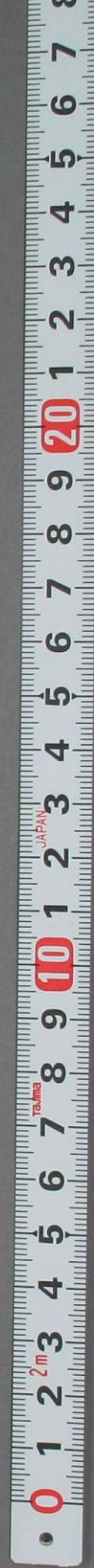




風説都之錦

二

伊 5
2391
2



門 伊 5
語 2.591
卷 2

臥泥都錦弟編卷之二

目錄

- 一 常例之山生東傳寺乱坊之事
- 一 陽丹着後書啟卷之二
- 一 執使閩東之書
- 一 勅書之書
- 一 大原做落首之事
- 一 麻疹流行移之華人率去之事

- 一 於此御所也
- 一 晴田大寺開高木前之事
- 一 飾天神山崎路成之事
- 一 圓明寺古文瓦鏡跡之事
- 一 修佛秘所并之事

凡近都之飾苑編卷之六



九月十八日

御所中世大和宮殿湯後湯元層同席出
 修所御 程向湯外坊地寺方及法衣之室智
 之角之 婦子嫌古故之相違之り
 常利之湯上東禪寺札坊之事
 日之夜四之湯常陸路入之由之之物事
 寺之之謠也打入中之之之之

藤本朝太郎

森半次

吉原金次郎

渡辺剛三郎

黒川小次郎

左之入りの女は百夜中は須品中宿を
方由のまじりし東條とてお入りの也
切符を電ししやいふ事おれは法外

今日入替り 杉平 松原も成り高
し法園子角の角のしよの角の角
海子波人 長園角のしよの角の角
長角人 別高 品 北東 輝も 部 化
角人 角角 長園人 角角 角角 角
角角 角角 角角 角角

角角角角

角角角角

勅書之寫

朕惟方今一時勢夷戎恐禍振愧我蒼
生而幕府奏言近來國民不悅和是
以膺懲之師不能舉願皇妹大樹降
後王時則公武一起而天下幾勢以
夷戎爲掃攘故所請許而幕使連署
而曰十年之內必夷戎攘朕甚悅丹誠
抽神祈以其俟成功于時昨臘祀宮闕

東江入也于種少將岩倉少將以天下大敵
之事事諭允且告曰國政舊仍之大概委
關東夷戎之事之加至而八我國之一大憂
也其國弊係者咸朕聞而後議事定公或八
二三藩臣以夷戎之所置願聞幕使
對曰宸意甚重大而邊難奉行暫爲猶
豫事事請既而列藩獻謀議者在薩長加
二藩者殊親來事事奏且山流南海西國

之志士既蜂起而密奏曰幕吏奸徒日
夕多正議地委而羨王家夷戎之暖皮踏
物貨濫出國用立所耗萬民困弊之極殆
至夷戎之管轄變事不日而可知也冀者
拳旌旗奉於高輿函嶺幕府之行吏誅
又曰不顧幕府攘夷之令下五畿七道其
加衆議雖其忠誠憂國之至情出事甚
激烈也薩是之策諭而令爲其他壓則

幕老吏久世大祀ナ召往復歷日未告准諺而
先昨臘所諭之行大赦丈大樹尚弱何之有

口但幕吏因修諭安檢馭

馭字ハ馬ノ口トリト云字
ナル凡飯ニ更テ治ル用ニ

術ナ失ス如斯則國家之傾覆事立而可待昧日夕
憂懼正所渴一日之安到忘百年之患聖賢之遺
訓可見考常內裕文德外備武術任然下之可立
攘夷之功於是斟酌衆議執守中道德川祖
先之興功業天下之欲令張因之策三事其六

一曰使大樹乘大小名上洛而治國家攘夷戎
上慙祖神之宸怒下從義臣之口嚮啓萬民
祀育基欲比天下養山安其二曰仍豐太閤之
故典沿海之火藩使立國祿五大老咨決國政
防禦夷戎令爲所置者則環海之武備堅固確
然而必掃攘夷戎功有其三一日使一橋刑部
卿補大樹使越前中將任大老職補佐府內
外之政支當九社之不憂辱
九社之辱トハ社ヲナリ
登夷戎從リテ孟也

二見是萬人之所望恐道不違朕道決以三事是故
使下関東蓋使幕府三吏之中選欲令行是以
周群臣之口不群臣無加忌憚各心丹效決而可
奏謹言

此書難會多必可誤脫多只寫本書之
儘

大原殿御下向之落首

大原女ハ落首ハ布ハ角ハ着ハ也

東洋の歴史

大内氏が神代書に記すところ

大内氏の子孫が

公

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

大内氏の子孫が

七月廿六日

着別々而可代家叙之ハ律官律之ハハ
チ〜海舟雅出頭取初見式存文

十三日

於江戶清田所ノ事

大樹信見

一橋道之位刑部卿房春卿

清田所ノ事

西四位中将執事守康小細長

京都守備隊

西四位中将源房守宗保朝長

右邊候中候守新規之方之疎也

〜

七日

千種大守御推知將右文朝長

右側在左御推知將自正今朝長

大正天皇御即位御様

大將典侍局 今御取次

大出侍局 御川御取次

大出侍局方下下御取次

大出侍局方下下御取次

七月廿一日

今日御取次下下御取次

今日御取次下下御取次

東州御取次下下御取次

東州御取次下下御取次

東州御取次下下御取次

東州御取次下下御取次

東州御取次下下御取次

東州御取次下下御取次

東州御取次下下御取次

東州御取次下下御取次

威徳が故を以て法を以て誦法を以て
切せり。其為法重た方ぬ余も旅人共
一物も不有。法中より法撰使おほ
し。法懸信理と存せり。付修り。且那
有。信理法也。

夫の

佛 天竺の門より張師の言

古月六のり因る。一。而全付を由。大方好成

時田を付。大集。そのを。法人はを
思。こ。我。亦。好。西。信。高。信。法。人。を
一。竹。無。川。不。也。世。法。の。事。を。何。年。
は。五。尺。大。鬼。強。日。春。一。長。師。教。言。を。生。亦
一。古。中。不。理。一。空。妙。わ。う。一。也。法。く。指。六
法。を。ん。事。を。天。系。不。行。取。よ。の。也。

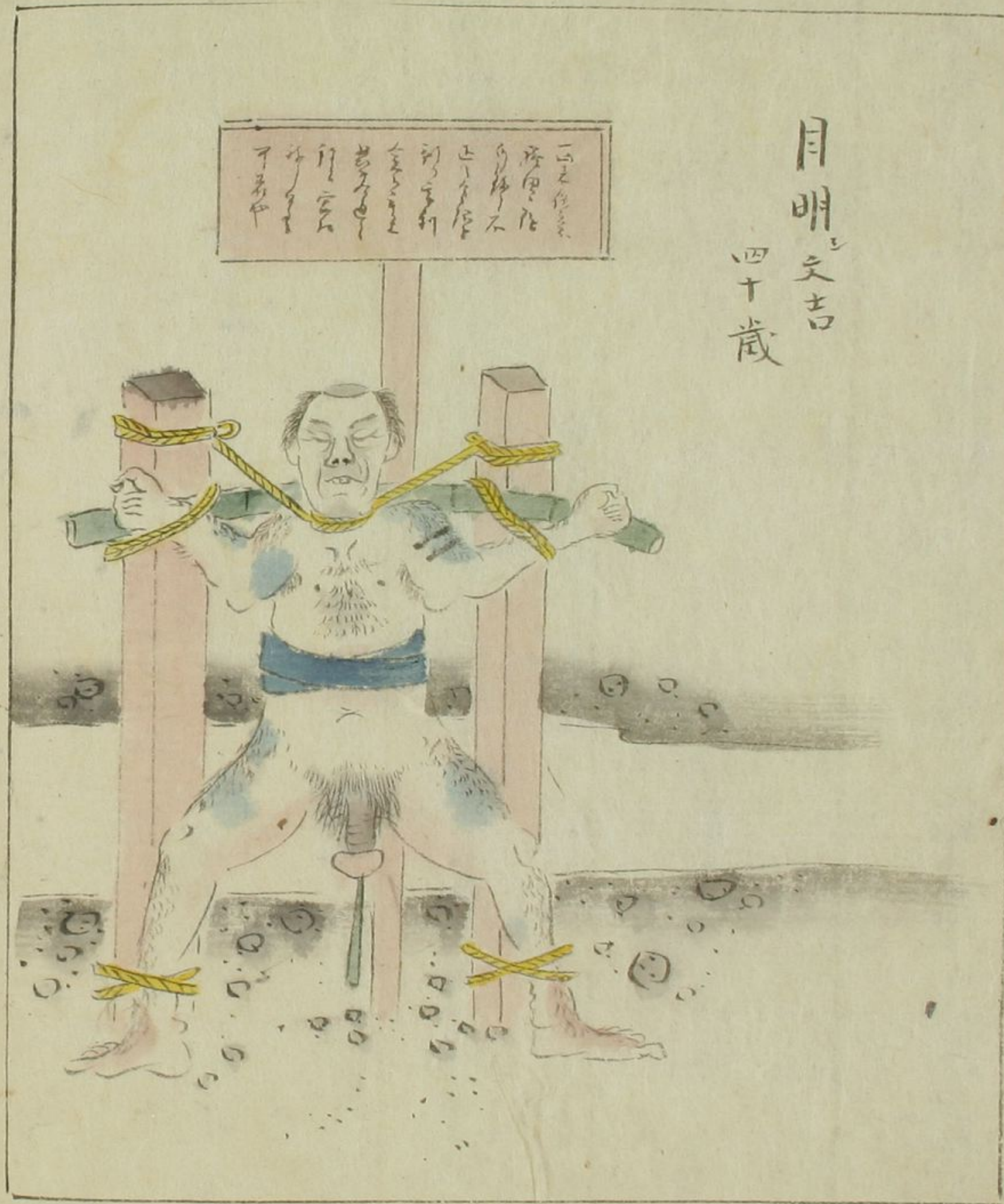
夫人二王成卒一七有

あから臨す

任在の原田明一文章のふしよのこえ来
ふらよのふしよ眼の又ふしよのふしよの
任在の原田明一文章のふしよのこえ来
ふらよのふしよ眼の又ふしよのふしよの
任在の原田明一文章のふしよのこえ来
ふらよのふしよ眼の又ふしよのふしよの
任在の原田明一文章のふしよのこえ来
ふらよのふしよ眼の又ふしよのふしよの

手控札

一はよのふしよのふしよのふしよの
任在の原田明一文章のふしよのこえ来
ふらよのふしよ眼の又ふしよのふしよの
任在の原田明一文章のふしよのこえ来
ふらよのふしよ眼の又ふしよのふしよの
任在の原田明一文章のふしよのこえ来
ふらよのふしよ眼の又ふしよのふしよの
任在の原田明一文章のふしよのこえ来
ふらよのふしよ眼の又ふしよのふしよの



月明^レ文吉
四十歳

月明^レ文吉
四十歳

天後... 在... 借用... 文吉... 日記... 新業... 打... 局... 局... 局...

二日

三日

勅使大原... 位... 督... 重... 德... 局...

七日

差... 利... 信... 津... 和... 局... 局...

今... 局... 局... 局... 局... 局...

局... 局...

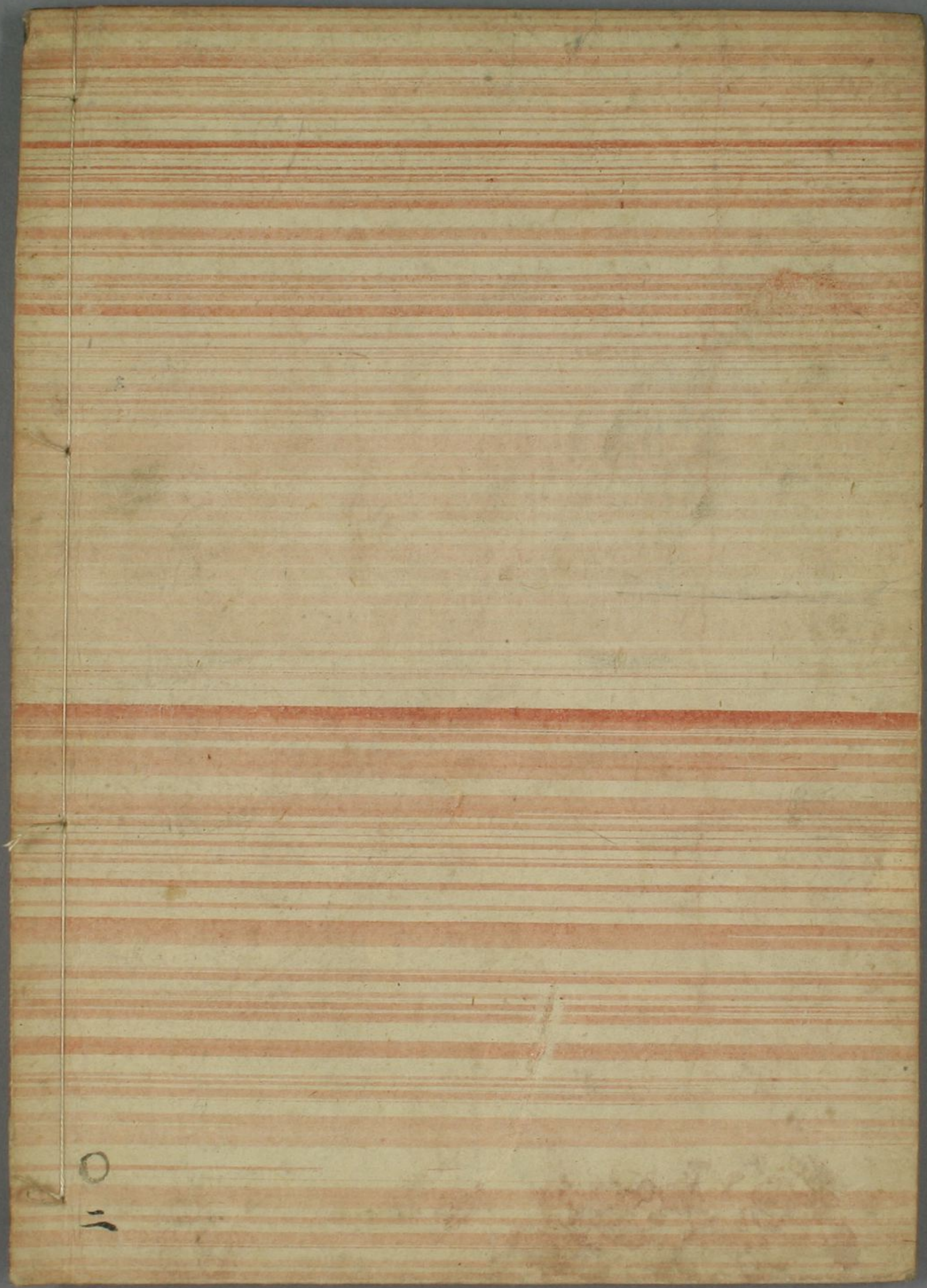
局... 局... 局... 局... 局...

局... 局... 局... 局... 局...

局... 局... 局... 局... 局...

局... 局... 局... 局... 局...

局... 局... 局... 局... 局...



110